

令7年2月21日

第171回

組 合 会 会 議 録

栗本鐵工健康保險組合

## 第 171 回 組合会会議録

### 1. 日 時

令和 7 年 2 月 20 日 (木) 午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分

### 2. 場 所

榎栗本鐵工所・本社 7 階 大会議室

### 3. 会議の目的である事項

#### 1) 議 決 事 項

(1) 令和 7 年度 収入支出予算及び事業計画の承認を求める件 (第 1 号議案)

#### 2) 報 告 事 項

(1) 令和 7 年度 調整保険料の据置

(2) マイナ保険証利用促進対応について

### 4. 招集通知の年月日

令和 7 年 2 月 12 日 (水)

### 5. 議員の定数

16 名

### 6. 出席した議員の氏名、出席者数

#### 1) 選定議員

織 田 晃 敏 井 上 正 信 奈 須 博 文

岩 本 知 也 加 藤 裕 次 山 本 泰

以上 6 名

#### 2) 互選議員

雪 本 悦 史 中 村 大 師 亀 川 貴 光

中 井 誠 山 崎 友 規

以上 5 名

#### 3) 書面及び代理人をもって議決権を行使した議員の氏名及び数

林 誠 (代理人: 岩 本 知 也)

田 所 功 次 (代理人: 中 村 大 師)

吉 野 隆 (代理人: 山 本 泰)

藤 本 和 喜 (代理人: 亀 川 貴 光)

宮 川 康 博 (代理人: 雪 本 悦 史)

以上 5 名

### 7. 欠席した議員の氏名、欠席者数

なし

以上 0 名

### 8. 組合会の成立確認

会議は、定刻午後 3 時 00 分に織田理事長が議長となり、議員が健康保険法施行令第 9 条に規定する定足数を満たしたので、この組合会が規定により成立していることを確認し開会を宣言した。

議長は、本組合会の会議録署名者 2 名の人選について諮ったところ、異議なく議長一任と決定、議長の指名により、次の議員 2 名が署名者として選任された。

選定議員 奈須 博文 ・ 互選議員 亀川 貴光

### 9. 議決事項

議長は、第 1 号議案の内容説明を常務理事及び事務局に求めた。

#### 1) 令和 7 年度収入支出予算及び事業計画の承認を求める件 (第 1 号議案)

事務局は、「収入支出予算概要表」「保険事業費の算出内訳及び事業概要」他、別紙「資料リスト」の資料に沿って詳細を説明した。

が微増する見込みであり、1,407,363千円（前年度予算比93,980千円増収）を見込む。

支出では、「保険給付費」の令和6年度見込額は1月以降分も12月分までの平均額で推移すると737,565千円（月額約61,500千円）と見込まれ、令和6年度保険給付費予算720,235千円を上回る実績となる見込みとなった。これは令和6年度12月実績が約87,000千円と月額予算額を約30,000千円もオーバーしたことが原因で、近年の医療費の増加傾向を踏まえ、令和7年度予算額を月額約68,830千円の825,980千円（前年度予算比105,745千円増）と見込む。

「前期高齢者納付金」については、令和5年度の前期高齢者給付費額は令和4年度よりも約11,000千円の大幅な増加となり、269,455千円（前年度比約64,161千円増）となる見込み。

「後期高齢者支援金」については、総報酬額増等により364,099千円（前年比約44,049千円増）となる見込み。「前期高齢者納付金」と「後期高齢者支援金」の予算計上額合計は635,000千円（前年比約105,000千円増）とする。

全体として、経常収支差は赤字予算となる見通しであるため、前年度繰越金259,051千円を令和7年度予算収入に計上するとともに、令和6年12月度のような保険給付費の不測の増加に備えるため月当たり30,000千円の予備費（年間360,000千円）を計上するため、前年度繰越金を計上してもなお不足する額300,000千円を別途積立金より繰入れることを説明し、令和7年度収入支出予算案の承認を求めた。

また、令和6年12月度の保険給付費の大幅な増加は、65歳以上の被扶養者に対する医療費が35,000千円となったことが原因であり、令和8年度の「前期高齢者納付金」は大幅に増加することが予想されることから、現在の別途積立金残高763,000千円はまったく安心できる積立額ではないことを説明した。

議長は、第1号議案に対し質問・意見を求めた。

特に質問・意見はなかったため、議長は第1号議案の採決を行い、結果次のとおりとなった。

令和7年度収入支出予算及び事業計画の承認を求める件（第1号議案） 賛成：16 反対：0

議長はこの結果を受け、第1号議案が原案通り可決承認された旨を宣した。

議長は引き続き報告事項に移る旨を宣し、報告事項について事務局に説明を求めた。

## 10. 報告事項

### 1) 令和7年度 調整保険料の据置について

事務局は、健保組合連合会から「令和7年度の修正率・調整保険料率について」の通知にて令和7年度の調整保険料率が「1000分の1.3」と通知されたことを報告した。

結果、令和6年度から据置となり、一般保険料率も1000分の92.7で変更ない旨を報告した。

調整保険料率は基本保険料率(1000分の1.3)×修正率で計算される。

修正率は、前前年度(R5年度)の標準報酬年総額に対する法定医療給付費等の比率にて決定され、当健保組合の修正率は「1」となった。

### 2) マイナ保険証利用促進対策について

事務局は、別紙「資料リスト」の資料に沿って、現状のマイナ保険証利用登録状況と、今後マイナ保険証利用登録をしていない加入者に対してアンケート調査を実施し、利用登録率の向上を図ることを説明した。

議長は、以上をもって会議の目的である議題はすべて終了したことを告げ、午後4時30分、組合会の閉会を宣した。

令和 7 年 2 月 21 日 調製

署 名

議 長

織田 晃敏 

選 定 議 員

奈須 博文 

互 選 議 員

亀川 貴光 